

◇報告◇ 6月に人権講座を開催しました。

まち館では、人権に関する認識を深め、一人ひとりが大切にされる社会の実現を目指して、この講座を開催しています



第1回まち館人権講座 6月26日(水)

「今あらためて人権の大切さ」
～私にとっての人権・部落問題～

講師は、園田久子(そのだ ひさこ 福岡女学院大学講師)さんでした。

これまでの長い教職の経験のなかから、今、人権教育が何故大切なのかを話していただきました。

「出会い」・・・むら(被差別部落)との出会いのなかで差別は「する側」の問題であると気づいたことや、部落問題・部落史についてのいまどきの若者の人権意識の紹介があり、大学生のアンケートから見えることを話されました。内容は、偏見の根深さ、マイナスのイメージの深さ、こんなことはしない方が(寝た子を起こすない)、散らばって住めば(部落分散論)自分は差別しない・関係ない等等。「解放令」から100年もたっているのに人権に対する意識の低さにおどろかされたとのことでした。園田先生の講演で心に残った言葉は、差別を「無くす」ことはできないけれども、差別を「減らす」ことは誰でもできる。差別を「知る・気づく・考える・判断すること」は誰でもできる。とのことでした。

最後に絵本「いのちの花」の原画のスライドと朗読がありました。

せつなくもここに響く 絵本「いのちの花」をまち館においていますので、ぜひ手に取ってご覧ください。

アンケート～

- * はじめて聞いた話もあり、衝撃を受けた
- * 自身に巣くう”偏見”手ごわい相手だと思ふ
- * 絵本”いのちの花”心の宝物になった
- * 改めて気づかされたことが多くあった
- * 子どもたちに人権をどう伝えていくか参考になった
- * 小中学校時代にならった差別についての授業を思い出した
- * 学生の生の声は気持ちが変わりやすかった
- * 人権問題には答えがない
- * 本にこめられた思いを実感しました
- * 若い人が先生の講義を自分の問題として考えている様子わかって希望がわいてくる思いがした
- * 差別は永遠のテーマである

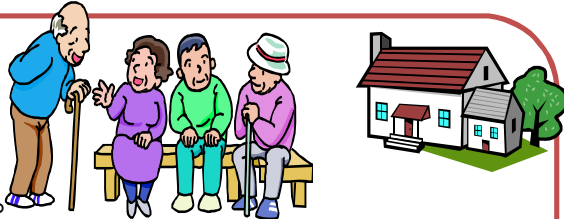
◇終わりに◇

体調の悪い中、声を張り、語っていただいた園田先生の思いをしっかりと受け止め頑張っていきます。また、講演会に参加いただきました皆様ありがとうございました。

手をつなぎ 一人にさせない 思いやり
なくそうよ あなたの身近な 差別の視線

壱岐丘中学校	2年	吉田 誠	(1996年度 人権標語入選作品)
壱岐丘中学校	2年	吉岡 綾	(1996年度 人権標語入選作品)

相談事業



様々な相談に応じています。地域の方々のための相談窓口です。まち館では適切に担当部署へ連絡するなど、みなさんと一緒に考えます。福祉、仕事、住宅、生活のことなどお気軽にご相談ください。

図書の貸出し



貸し出し 月曜日～土曜日
午前9時～午後5時
※貸し出しは2週間です。

えがおの会の吉留さんから本を寄贈していただきました。ありがとうございます。



ハローワーク(公共職業安定所)



まち館ではハローワークへの橋渡しを行っています。求人情報をまち館で見ることができます。正社員やパートさんの情報も、毎日、ロビーで見れます。ハローワークに行く前に、お気軽にまち館へお立ち寄りください。お待ちしております。

サークル会員募集中

- 立体おりがみ同好会 毎月第③金曜日(8月のみ第④金) 午前10時～正午
- 生きいき元気体操 毎月第①・②・③月曜日 午後1時～3時



まち館だより次回以降 予定行

- | | | |
|---------------------------|--------------------|----------------------|
| ●いきいき健康教室 11月～ | ●しめ縄づくり 12月 | ●マジック教室 2月 |
| ●家庭教育講演会 12月4日(水)午後7時半～ | ●親子文化鑑賞会 12月 | ●人権講座 2月19日(水)午後7時半～ |
| ●おもしろ科学実験教室12月7日(土)午後1時半～ | ●運営懇話会 12月 | ●運営懇話会 2月 |
| ●親子でミニ門松づくり教室(道隈)12月 | ●三世代交流餅つき大会(道隈)12月 | |